

(9) 中国



中国地域では、景気は足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる。

- ・ 鉱工業生産は弱含んでおり、新型コロナウイルス感染症の影響もみられる。
- ・ 個人消費は足もとでは、新型コロナウイルス感染症による影響があり、弱めの動きがみられる。
- ・ 雇用情勢は改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

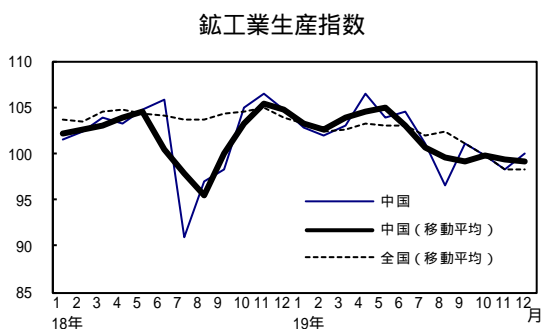
前回からの主要変更点

	前回(令和元年11月)	今回(令和2年3月)
景況判断	一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調	足もとでは、 <u>新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる</u>
個人消費	持ち直しの動き	足もとでは、 <u>新型コロナウイルス感染症による影響があり、弱めの動きがみられる</u>

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は弱含んでおり、新型コロナウイルス感染症の影響もみられる。

10 - 12月期には、輸送機械は、普通乗用車等が減少した。汎用・生産用・業務用機械は、金型等が増加した。化学は、塩化ビニルモノマー等が増加した。電子部品・デバイス、モス型IC(メモリ)等が増加した。食料品・たばこは、清涼飲料水等が増加した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比)(%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		7 - 9 月期	10 - 12 月期	10月	11月	12月
輸送機械	23.2	7.1	5.7	7.6	4.7	3.3
汎用・生産用・業務用機械	13.3	18.5	11.4	4.9	4.0	21.5
化学	12.2	4.5	0.8	5.2	9.1	1.4
電子部品・デバイス	8.8	1.6	6.0	6.7	3.1	1.8
食料品・たばこ	6.8	4.2	2.4	5.9	7.1	2.8
鉱工業	100.0	5.1	0.1	1.3	1.5	1.8

(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。中国の最新月は速報値。
2. 全国及び中国の太線は中心3か月移動平均。
直近月は2か月平均。

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
2. 10 - 12月期、12月は速報値。

2. 個人消費の動向

個人消費は足もとでは、新型コロナウイルス感染症による影響があり、弱めの動きがみられる。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

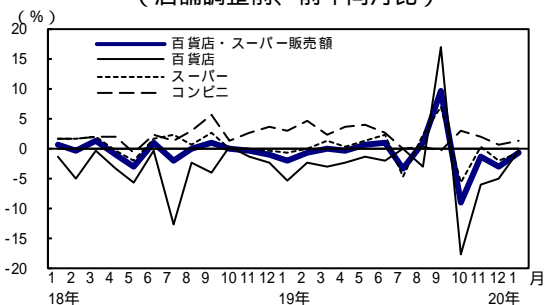
10月は前月比5.9%減、11月は同3.1%増、12月は同0.2%減となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店は、10月は、秋冬物衣料品や時計、宝飾品が低調で、前年を下回った。11月は、冬物衣料品や時計、美術品が低調で、前年を下回った。12月は、冬物衣料品やラグジュアリーブランド、美術品が低調で、前年を下回った。1月は、前年を下回った。

スーパーは、10 - 12月期は、暖冬だったこともあり、冬物衣料品や鍋商材等が低調で、前年を下回った。1月は、前年を下回った。

百貨店・スーパー販売額等
(店舗調整前、前年同月比)



	2019年 10-12月	2019年 10月	11月	12月	2020年 1月
RDEI (消費*1)	2.2	5.9	3.1	0.2	
百貨店・スーパー(*2)	4.4	9.0	1.6	3.0	0.7
百貨店(*2)	8.9	17.7	6.0	5.1	0.4
スーパー(*2)	2.5	5.8	0.3	2.1	0.9
コンビニ(*2)	1.7	2.8	2.0	0.4	1.1
乗用車(*3)	19.3	27.1	14.7	16.0	12.8
(季節調整値)(*3)	21.2	29.6	19.8	7.8	5.9

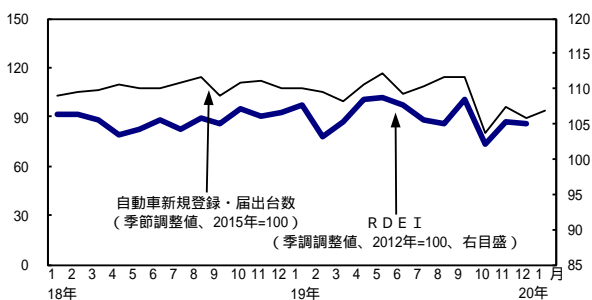
(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

2020年1月は速報値。

3. 乗用車は、新規登録・届出台数 (上段は前年同期(月)比(%))

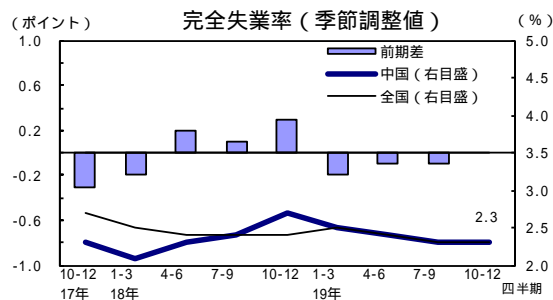
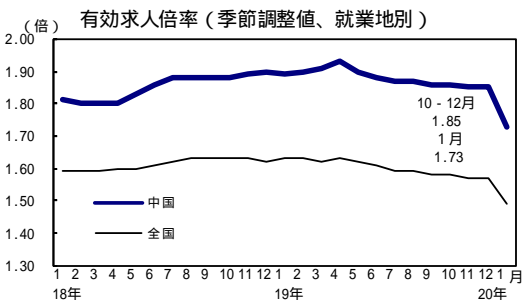
RDEI (消費) と自動車新規登録・届出台数の推移



3. 雇用情勢

雇用情勢は改善している。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期と同水準となっている。



(備考) 内閣府にて季節調整をおこなったが、季節性が認められなかったことから、原数値と同じ。

(13) 景気ウォッチャー調査 (2020年2月調査) 景気判断理由の概要

9. 中国

(良、 やや良、 不変、 やや悪、 ×悪)

		判断	判断の理由
現状	家計動向関連		・新型コロナウイルスの影響で定期便が運休となり、インバウンドの入場者数に影響が出ている。国内旅行についても団体客のキャンセルが多くなってきている(テーマパーク)。
		×	・新型コロナウイルスの感染拡大が影響し、インバウンドはもちろん、国内もキャンセルが多発し、新規の予約も伸び悩んでいる(都市型ホテル)。
			・来客数に大きな変動はない。最近では新型コロナウイルスの影響でマスクは品切れ、ティッシュペーパー、米、飲料、カップ麺などが売れている(スーパー)。
	企業動向関連		・主力製品の自動車関連部品向けの需要が低迷しており、販売量が前年同期比5%の減少となっている(化学工業)。
		×	・ここ最近になっても生産量は横ばいである(食料品製造業)。 ・新型コロナウイルスの影響により中国向けの輸出が激減している(輸送業)。
	雇用関連		・前年比で求人数が減少している。業界ごとに差はあるが、製造業は分野によって求人数が減少している(人材派遣会社)。
		・新規設置の事業所などによる目新しい求人がなく、人手不足を反映して求人倍率は依然として高いものの停滞感がある(職業安定所)。	
その他の特徴コメント			：新型コロナウイルスの影響もあり、観光客が減少し、タクシーの乗車にも悪影響を与えている(タクシー運転手) ×：暖冬や新型コロナウイルスの影響で来客数が大幅に減少している(商店街)。
先行き	家計動向関連		・新型コロナウイルス問題が収束すればやや良くなるが、現状では先行きが不透明で、中国の生産や物流関係が元に戻るにはまだ時間が掛かる(百貨店)。
		×	・例年であれば、卒業、進学、転勤と人の動きが多くなり、外食の機会が増える時期であるが、新型コロナウイルス問題の収束までは来客数は増加しない(一般レストラン)。
	企業動向関連		・新型コロナウイルス問題への対応からイベント、パーティー、出張等が延期や中止になり、人の流れが減少することから消費が確実に冷え込む(通信業)。
		×	・新型コロナウイルスの影響により、インバウンドや生産が落ち込み、株価が下落する(一般機械器具製造業)。
	雇用関連		・新型コロナウイルス問題がいつ収束するかが不透明で、製造業、観光業、飲食業など幅広い業界が厳しい状況に陥り、求人にも悪影響を与える(求人情報誌製作会社)。
	その他の特徴コメント		

(D I) 現状・先行き判断D I (中国)の推移(季節調整値)

